

# 決算

## 一般会計から見る町の財政状況

わたしたちの生活に密接にかかわっている一般会計の決算状況を見てみましょう。

### 歳入は約74億7千万円

歳入は、皆さんが支払う町税、町が事業をするために借り入れる町債、地方交付税、国庫支出金や県支出金などが主なものです。

22年度の歳入総額は、74億7932万4千円で、前年度より4654万3千円減少しました。減少の主な理由は、

歳入全体に占める町税、負担金や使用料などの自主財源（町が独自に調達できる財源）の割合は、33・6%で、昨年より1・4ポイント減少しています。町税は、長引く不況の影響で、個人や

企業の所得が低迷し、町税全体で5・3%、金額にして1億479万9千円の減収となりました。

### 歳出は約72億6千万円

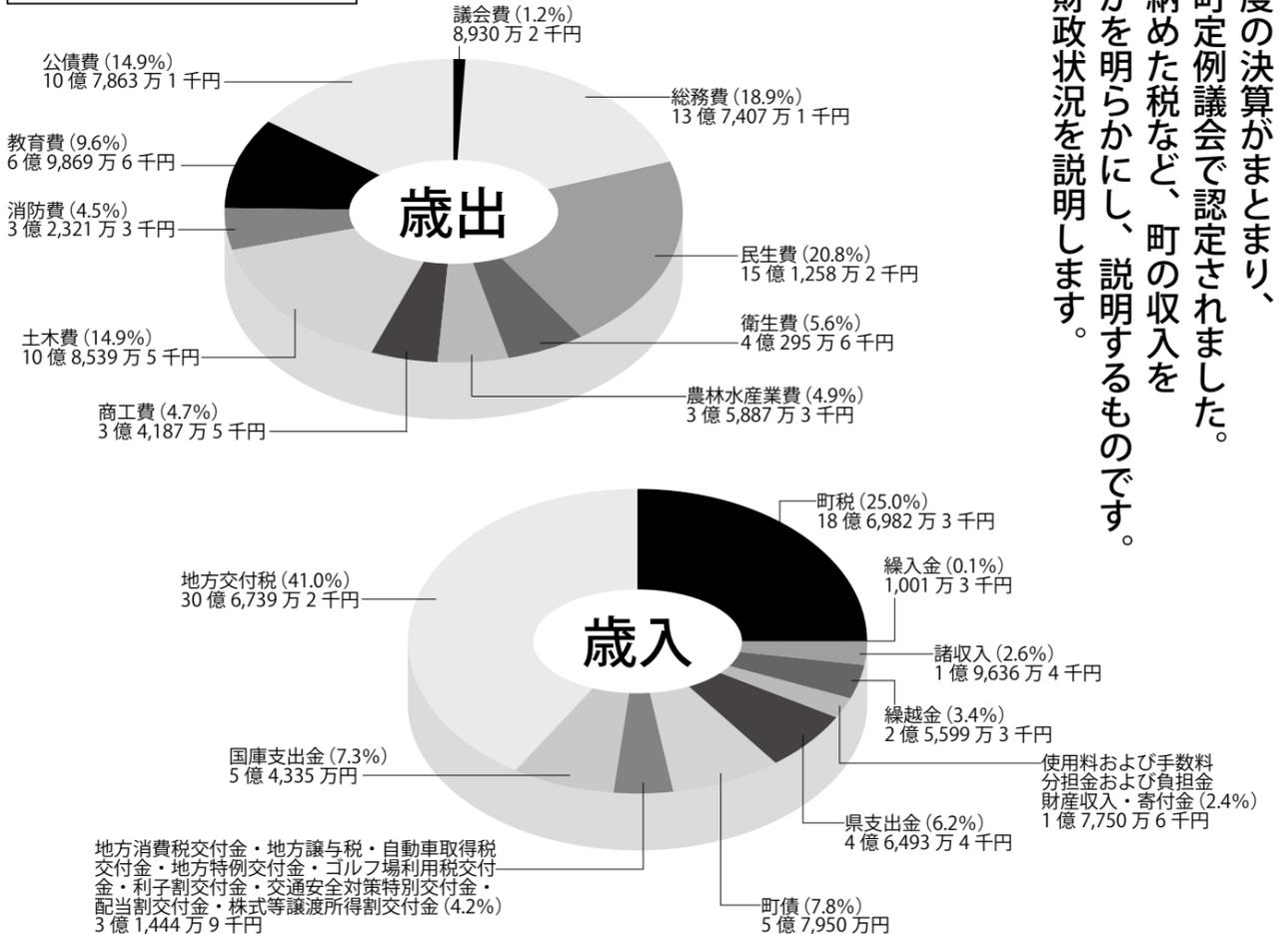
一方、歳出のほうを見てみましょう。22年度の歳出総額は、72億6559万4千円で、前年度より428万円減少しました。

歳出の主な事業は、子ども手当の新設、緊急雇用創出基金事業、ふるさと雇用再生特別交付金事業などです。不況の影響で離職する人が増加したことを受け、雇用の創出に力を入れました。

一昨年度まで本町では、一般財源の不足分を、財政調整基金からの繰り入れに頼っていました。しかし、昨年に続き22年度も繰り入れをせず、財政調整基金に約4億6千万円の積み立てをすることができました。

このほど町の22年度の決算がまとまり、9月に開かれた、町定例議会で認定されました。決算は、皆さんが納めた税など、町の収入をどのように使ったかを明らかにし、説明するものです。決算から見る町の財政状況を説明します。

## 一般会計内訳



平成22年度歳入歳出決算額および対前年度比較表

単位：千円

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	歳入		歳出		21年度	
				21年度との比較	増減率	21年度との比較	増減率	歳入	歳出
一般会計	7,479,324	7,265,594	213,730	△46,543	△0.82%	△4,280	△0.06%	7,525,867	7,269,867
特別会計	11,479	10,866	613	△23,462	△67.15%	△23,639	△68.51%	34,941	34,505
猪苗代地区財産区	2,835	2,397	438	△3,563	△55.69%	△3,256	△57.60%	6,398	5,653
翁島地区財産区	12,997	12,758	239	2,100	19.27%	1,982	18.39%	10,897	10,776
長瀬地区財産区	29,794	29,355	439	△1,699	△5.39%	△1,813	△5.82%	31,493	31,168
吾妻地区財産区	1,767,530	1,637,761	129,769	20,142	1.15%	△78,761	△4.59%	1,747,388	1,716,522
国民健康保険	350	350	0	△13,472	△97.47%	△13,346	△97.44%	13,822	13,696
老人保健	62,355	57,915	4,440	△82,466	△56.94%	△85,707	△59.68%	144,821	143,622
簡易水道事業	657,248	641,642	15,606	△35,232	△5.09%	△31,492	△4.68%	692,480	673,134
下水道事業	121,896	117,240	4,656	△41,159	△25.24%	△41,428	△26.11%	163,055	158,668
特定環境保全下水道事業	263,598	246,091	17,507	△3,703	△1.39%	△15,669	△5.99%	267,301	261,760
農業集落排水事業	1,191,683	1,188,103	3,580	△29,631	△2.43%	△25,236	△2.08%	1,221,314	1,213,339
介護保険	154,234	153,868	366	653	0.43%	470	0.31%	153,581	153,398
後期高齢者医療	4,275,999	4,098,346	177,653	△211,492	△4.71%	△317,895	△7.20%	4,487,491	4,416,241
特別会計計	11,755,323	11,363,940	391,383	△258,035	△2.15%	△322,175	△2.76%	12,013,358	11,686,115
一般会計+特別会計合計									

水道事業会計決算 ( )内は前年度比率 単位：千円

区分	決算額	区分	決算額
収入	303,062 (100.5%)	収入	1,343 (△86.5%)
支出	267,172 (101.5%)	支出	134,486 (100.5%)

\*資本的収支の不足額1億2,389万8千円は、内部留保資金、建設改良積立金などから補てんしました。

病院事業会計決算 ( )内は前年度比率 単位：千円

区分	決算額	区分	決算額
収入	58,410 (△15.2%)	収入	84,899 (△93.8%)
支出	51,640 (△25.1%)	支出	78,370 (△94.3%)

## 財政指標から見る町の財政状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）に設けられた、4つの指標の状況を見てみましょう。本町の場合、実質赤字比率と連結実質赤字比率は、赤字ではないので、該当がありません。

**実質公債費比率は16・3%**

実質公債費比率は、町税や地方交付税などの歳入のうち、何%が借金の返済に使われているかを示すもので、過去3年間の平均値で示されます。町の実質公債費比率は、

**将来負担比率は116・4%**

将来負担比率は、一般会計における標準的な年間収入の何年分の借金があるかを表す比率です。町の将来負担比率は、116・4%で、昨年より24・5%減少しています。

町では、財政健全化計画などを策定し、今後も経費の削減に努め、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。

## 町税の負担

町民の皆さんが22年度に負担した町税は、年間平均で1人当たり116,391円、1世帯当たり351,602円となりました（国民健康保険税を除く）。

## 1人当たり町税負担の内訳

町民税	35,254円
固定資産税	68,977円
軽自動車税	2,112円
町たばこ税	7,108円
入湯税	2,115円
国民健康保険税	89,866円

※町民税負担の内訳は、23年3月31日現在の住民基本台帳人口16,065人、世帯数5,318世帯、国民健康保険税は4,470人で計算しています。